

者への確認、納付の連絡を行っています。



清流胆沢川（北上川合流地点を望む）

質問 胆沢ダムが完成し、本来の流れを持つ胆沢川を回復した時、観光資源等として活用すべきと考えますが伺います。

市長 観光資源のみならず、環境学習の場、憩いの場として活用すべきと考えます。『水源地地域ビジョン』の策定に国、県とともに積極的に参加し、胆沢川流域の整備事業に向けて取り組んでまいります。

質問 浄化槽排水や生活排水の浄化、水生生物の保護等のために農業用水路等に通年通水すべきと考えますが伺います。

市長 胆沢平野土地改良区のかんがい用水は毎秒16トンですが、非

かんがい時期の水利権は毎秒1・5トンであり、現実には通年通水は困難であると考えます。



たかはし かつし
高橋 勝司

○岩手県交通北股線・南股線が10月から廃止

質問 衣川区コミュニティバス運行計画は、廃止になった経過を十分に考慮されないように思われますが基本的な考えについて伺います。

市長 衣川区の方々にとって区外への通院、通学、買い物など長年に渡って利用されてきました岩手県交通バスが、家用車の普及で利用状況の悪化に歯止めが掛からず、両路線とも1日15人以上と言う補助要件を割り込み、補助を受けられない事態となりました。市では衣川区の方々の日常生活の移動手段を確保するため、市単独のコミュニティバスを運行することとしました。

質問 コミュニティバスは今までの岩手県交通バスと同じ路線であり、比較的乗車の多い古戸から前沢ジャスコ間とし、古戸までは、北股・南股方面の方は予約する事

で各集落まで入る『デマンド型乗合タクシー』とし、コミュニティバスに古戸で乗り継ぐ併用方式にする事によって、利便性とコスト削減につながるものと思いますので伺います。

市長 タクシー車両を活用した予約制のデマンド交通については、公共交通機関の利用が少ない地域においても、需要に応じて効率的な運営ができる事から各地で採用されています。しかしながら地域によって集落の分布、地理的な状況等異なっていることから、このシステムが衣川区に合致するかを含めて今後の検討課題とし、より良い公共交通システムの構築に努めてまいります。



北股・南股線が廃止される岩手県交通バス（衣川区）

○子育て支援について
○ファイリングシステム
導入検討について



わたなべ あけみ
渡辺 明美

質問 「大切な奥州の宝」である子供たちの育つ環境を守ることは「子育てナンバーワン」のまちだと思います。人材育成を最優先に考えたい時、子供を預かる部署の責任は重いものと考えます。正職員と臨時職員の待遇改善について伺います。

市長 保育士の臨時職員は正職員を上回り、特別保育は臨時職員で対応しています。一気に解消は難しく、着実に増やすよう考えています。また臨時職員の待遇改善にも努めているところです。職員間の会議等密接な連携の下、資質の向上に努めていきます。

質問 いずみ保育園の改築計画を含む子育て支援施設整備事業の進捗状況と、併設される水沢区の幼児教室他、市内各区の療育事業を補完調整する発達支援センターの今後の計画について伺います。

市長 水沢区の新市建設計画に沿って進め、用地取得が終盤を迎